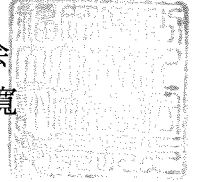


平成25年8月19日

公立大学法人九州歯科大学  
理事長 西原 達次 様

福岡県公立大学法人評価委員会  
委員長 齋藤 寛



公立大学法人九州歯科大学の平成24年度の業務の実績に関する評価結果について（通知）

貴大学の平成24年度の業務の実績に関する評価結果について、地方独立行政法人法第28条第3項の規定により別添のとおり通知します。



# 公立大学法人九州歯科大学

## I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切ったところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としているところである。

平成24年度の評価にあたっては、第1期中期目標期間中に整備した運営基盤の強化と同期間内に取り組んだ諸改革を一層進めるとともに、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中5項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（財務）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項についても、歯科医師国家試験合格率を高水準に回復するとともに、学生の歯科医療人としての自覚を高めるために、初年次教育を演習科目を充実させたカリキュラムに再編するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成24年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

## II 項目別評価（中期目標項目別評価）

### 1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
  - ・学生の歯科医療人としての自覚を高めるために、初年次教育を演習科目を充実させたカリキュラムに再編している。

- ・平成24年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中2位と高水準であったことを評価する。引き続き、全国トップレベルの合格率が維持されることを期待する。

(2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成

- ・口腔保健学専攻修士課程の設置に向け、文部科学省への申請等着実に準備を進めている。

(3) 教員の教育力の向上

- ・ワークショップを開催するなどFD (※) の推進に努めている。

※FD (ファカルティ・ディベロップメント)  
教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(4) 適性のある優秀な人材の確保

- ・入試説明会、高校訪問等の入試広報活動を積極的に実施し、歯学科、口腔保健学科ともに志願倍率が目標を上回っている。

(5) 学生への支援

- ・平成25年度に卒業する口腔保健学科一期生の就職活動を支援するため、学生との面談やセミナーを開催している。

## 2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・「第1回Asia-Pacific Conference in Fukuoka2013」を主催したことを評価する。
- ・科学研究費補助金獲得件数が目標を大きく上回るなど、外部研究資金を積極的に獲得していることを評価する。
- ・「地域連携による『ものづくり』継承支援人材育成協働プロジェクト」が文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」に選定され、医歯工学連携を推進していることを評価する。

## 3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・ 県立三大学連携県民公開講座を初めて開催したほか、公開講座の開催等により、地域住民や医療従事者に対し、研究成果の発表を行った。
- ・ 新たにミャンマーや台湾の大学と学術交流協定や覚書を締結し、海外の大学との連携を推進していることを評価する。

#### 4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・ 事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行っている。

#### 5 財務

評価	3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	---------------------------------

財務については、年度計画を着実に実施しているものの、附属病院収益が減少していることから、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・ 附属病院については、入院患者数の減少による入院収益の減少等、診療収益が大幅に減少していることから、早急に対策を講じ、改善を図る必要がある。

#### 6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・ 大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- ・ 平成26年の創立100周年に向け、記念ロゴマークを作成するなどPRに努めている。